

平成20年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
2-1	橋わたしによる地域福祉の活性化事業	継続	H20	地域保健福祉課

1 事業概要

事業実施主体	地域保健福祉課	対象者	区民	当初予定事業 緊急対応事業
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他( )	関連事業局 ・事業内容	まちづくり局	
目的及び内容	<p>本事業は、「福祉の心、人と人との橋わたしで、支え合える地域づくり」を基本理念とし、平成20年度から3か年計画である「中原区地域福祉計画」を推進する上での重点的な取組と位置づけている。これらの事業を推進することで、同計画の基本目標である「1 福祉活動やボランティア活動の機会をつくる」「2 福祉活動やボランティア活動のいっそうの活性化・充実を図る」「3 区民、福祉活動団体、行政等が情報を共有できるしくみをつくる」「4 地域におけるネットワークづくりを推進する」の実現を目指す。</p>			
予算額	2,932,000(円)	決算額	1,736,964(円)	不用額 1,195,036(円)
不用の理由	<p>予定していたワークショップは健康福祉局の予算で執行。まちなか講座等で、リーフレットの購入を抑え、また、印刷物は色紙を使用して自主作成したため、不要額が生じた。</p>			
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】	<p>まちなか講座は、衛生課主催の講習会参加者及び川崎中原工場協会の加盟団体を対象に講座を8回開催し、120名が受講した。</p> <p>地域福祉講座は、市民公募に変更して、ボランティア養成等の5事業を選定、委託した。</p> <p>高齢者向けホームページは、開設に向けて委員会を設置し、区内の高齢者の外出支援につながる方策や区民が求めている広報内容等について検討を行った。</p> <p>武蔵小杉駅周辺地域等の啓発事業は、福祉施策等を紹介する啓発用リーフレットを作成し、NPO 法人小杉駅周辺エリアマネジメントや関係各課と連携を図りながら、こすぎ夏フェスタ会場での配布や分譲マンションのポストへの投函を行った。</p>		
	別添	実施時期 (開催日/回数等)	平成20年度中	参加人数等 上記のとおり

2 事業評価

<p>評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)</p> <p>まちなか講座は、各社に直接応募するよう働きかけたが、企業側の関心が低く、講座の実施が10回に満たなかった。</p> <p>地域福祉講座は、4月と10月に公募を実施したことで、社協に委託した前年の3件を上回る実績を残せた。</p> <p>高齢者向けホームページは、委員会での検討を重ね、21年度開設に向けた作業は順調に進捗した。</p> <p>武蔵小杉駅周辺地域等の啓発事業は、住民が関心を持つ啓発内容や手法の難しさを感じたが、各団体と連携しながら2,000世帯を越える住民へのリーフレット等の配布ができた。</p>
---

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	本年度は、各事業とも、3か年計画である地域福祉計画の2年次めであり、継続して実施する。なお、来年度は、計画の改訂年度であり、このことを意識しながらより有意義な事業展開を図っていく。	B

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

区民会議からの主な意見

事業の受け手側のニーズに即した形での、講座内容などを検討して実施して欲しいと思います。

## 中小企業等を対象とした「まちなか講座」の募集について

川崎市及び各区では、第2期地域福祉計画を策定し、平成20年4月からの3か年計画として実施しております。

中原区の地域福祉計画は、少子高齢化の進行や核家族化、労働環境の変化などに伴い、地域における人と人とのつながりが希薄になってきている今日、活力と潤いのある支え合える地域づくりを構築するために、「福祉の心、人と人の橋わたしで、支え合える地域づくり」を理念としております。

「まちなか講座」は、区内の中小企業の労働者等を対象としたボランティア活動と地域保健の啓発事業として計画に位置づけ、実施しております。

是非、各社の職場研修等のひとつとして、「まちなか講座」をご利用ください。

### 【地域課題】

- 福祉活動の担い手の高齢化や新たな担い手の育成
- 平成20年度からの特定健診・保健指導や生活習慣病対策等に対する取組
- 労働者層に対して、行政情報を直接に伝える講演会等の開催

### 【目 標】

- 中小企業の労働者等に対して、健康管理や地域福祉に眼を向けるきっかけをつくる。

### 【取組内容】

- 区内の中小企業や各種団体の会合に区職員(事務職員、保健師等)が出向き、健康づくり指導や福祉施策等を紹介する講座を開催する。
- 講座は、原則として、平日の午前9時から午後5時までとし、説明時間15分程度の短時間での開催とする。

### 【講座内容】

- 福祉施策等の紹介(行政施策や地域のボランティア活動の紹介)
- 健康づくり指導(内臓脂肪症候群(メタボリックシンドローム)対策、たばこの禁煙など)

### 【申し込み方法】

裏面、FAX送信票「まちなか講座申込書」をコピーの上、必要事項を記入し送信してください。

(注意)そのまま送信すると裏面が写ってしまうので、必ずコピーをしてください。

受信確認後に、日程調整、講演会場や健康づくりの講演内容等の詳細確認のため、区役所の担当職員から電話いたします。

【問合せ・申込先】保健福祉センター地域保健福祉課  
窪井、田村 電話(744)3252

# FAX送付票

## まちなか講座申込書

平成 年 月 日

あて先	担当部署	中原区役所地域保健福祉課企画担当
	担当者名	窪井、田村
	FAX	(044)744-3342
	電話番号	(044)744-3252
送信者	会社名	
	担当者名	
	住所	
	電話番号	
講座希望日 (*時間は、平日の午前9時から午後4時30分の間)	第1希望	平成20年 月 日( )午前・午後 時 分から
	第2希望	平成20年 月 日( )午前・午後 時 分から
	第3希望	平成20年 月 日( )午前・午後 時 分から
健康づくりの講演内容 (希望するもの1つに○印をつけてください。)	1	メタボリックシンドローム
	2	食育
	3	禁煙
	4	メンタルヘルス
	5	その他( )
*備考欄		

# 中原区 まちなか講座

中原区では、平成20年4月からの3か年計画として、「第2期中原区地域福祉計画」を実施しております。この計画の理念は、「福祉の心、人と人との橋わたして、支え合える地域づくり」とし、基本目標は、福祉活動やボランティア活動の「機会（きっかけ）」をつくることや活動の「いっそうの活性化・充実」を図ること。また、区民、福祉活動団体、行政等が「情報を共有できるしくみ」をつくること。「地域におけるネットワークづくり」を推進することとしています。

まちなか講座は、働く世代の多い中原区において、行政情報等を直接伝えることが困難な労働者層に対して、平日の午前9時から午後5時の間で、区職員が区内の職場等に出向き、説明時間15分程度の短時間の講座を開くことで、受講者の意識啓発を図ることを目的に実施し、これを地域福祉計画の重点的な取組のひとつとしております。

**この講座の目標は、受講された皆様方への健康づくり(生活習慣病予防等)や地域福祉(ボランティア活動等)に眼を向けるきっかけづくりに寄与することです。**

## 【地域福祉を取り巻く現状と課題】

平成20年3月に厚生労働省から公表された「これからの地域福祉のあり方に関する研究会報告書」によると、かつては、「(相互に)「おたがいさま」といった地域の相互扶助により人々の暮らしは支えられてきた」。しかしながら、今日では、「地域の連帯感が薄れ化し」、「人々の移動性や流動性が高まり、個人主義的傾向も強まる中で、「ご近所」の人間関係が形成されず、地域の求心力の低下を招いている。特に大都市においては、オートロックのマンションに民生委員が入れないという状況もあるように、地域社会の支え合う関係の脆弱化が著しい。このことは、自治会・町内会の組織率の低下、それ以外の地域でも自治会・町内会の役員や民生委員の確保が困難であるといったことにも現れている。」さらには、「働き盛りの世代が男女ともに働きに出かけ、日中地域にいないという状況の中で、子育てのために地域がまともだったり、子どもに地域の一人としての意識をもたせたり、地域の人々が参加し、ともに行う行事を継承したりすることすら難しくなっている。また、子育て中の親には、地域で相談できる人がおらず、子育て不安をもっている者も多く、子供が生まれ、育つ場としての地域がその機能を果たしていない状況にある。」と地域福祉を取り巻く現状が分析されています。

## 【地域福祉の推進に向けて】

こうした地域福祉を取り巻く現状は、川崎市においても例外ではありません。また、右の調査結果にもあるように、ボランティアの高齢化やボランティア不足といった課題が顕在化しており、地域にとって必要な取組を推進する上での大きな障壁となっています。

地域福祉の推進にとって重要なことは、地域住民が、①自ら福祉ニーズや福祉施策に関心を持つこと。②地域の福祉活動に積極的に参加すること。③福祉サービスの受益者・利用者の立場に加えて、サービスの提供者・地域福祉の担い手となることです。

地域における様々な生活課題に向き合い、支え合える地域づくりを目指すことは、支援を必要とする人が自立した生活が送れるようにすると同時に、支援する人自身も、活動を通じて、地域に根ざした新たな暮らしを得ることができるのではないのでしょうか。

裏面には、中原区内のボランティア情報を掲載いたしました。皆様の生活に無理とならない範囲で、ボランティア等の地域活動に参加してみたいかがでしょうか。

### 民生委員・児童委員

民生委員・児童委員は、厚生労働大臣から委嘱を受けた地域にお住まいのボランティアの方々で、平成20年4月現在、約260名の方が活躍しています。

民生委員・児童委員は、地域の生活困窮者、児童、心身障害者、高齢者に関する問題を抱える方からの相談や見守り活動を行っています。

また、8つの地区民生委員児童委員連絡協議会(住吉第1・第2地区、玉川地区、丸子地区、小杉第1・第2地区、大戸第1・第2地区)では、地域の子育て支援活動として「子育てサロン」の運営や安心・安全のまちづくりのために、学校の通学路や校門での「あいさつ運動」、高齢者や障害者等の災害時に支援が必要の方のために、「災害時ひとりも見逃さない運動」の推進や川崎市の災害時要援護者避難支援制度への協力等を行っています。

さらに、敬老事業、高齢者の実態調査、各種募金活動、社会福祉協議会への協力等地域福祉の向上のために様々な活動をしています。

### 中原区社会福祉協議会

社会福祉協議会は、社会福祉法に基づき各都道府県・政令市、そして市区町村ごとに設置され、地域福祉を推進するための事業活動や連絡調整等を行うことを目的とした民間の団体です。

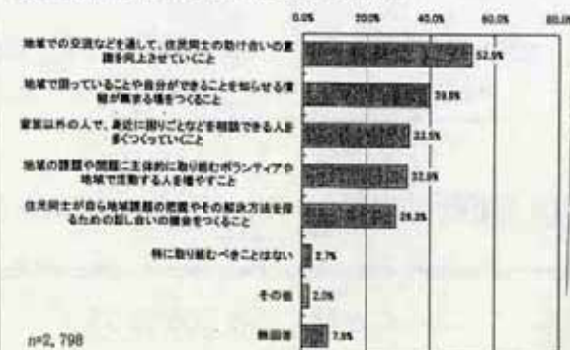
中原区社会福祉協議会では、より身近な地域の中で福祉活動を推進するために地域福祉活動計画「おたがいさまのまち」を施行し、中原区内の5つの地区社会福祉協議会(住吉地区、玉川地区、丸子地区、小杉地区、大戸地区)とともに、町内会・自治会、民生委員・児童委員、そしてボランティアといった地域の方々をはじめ、行政機関や関係機関等と協力して、様々な事業活動に取り組んでいます。

(主な事業活動)  
各種福祉相談、車椅子の貸出、移送サービス(福祉車両の貸出)、老人いこいの家の管理運営、生活福祉資金の貸付相談、障害児者と介護者のリフレッシュ事業、赤い羽根共同募金・年末たすけあい運動の推進、民生委員・児童委員活動の育成支援等

◎地域活動やボランティア活動等を行う上で困っていること



◎地域福祉の推進に向け必要な市民の取組



平成18年に川崎市が実施した「第1回地域福祉実態調査」から

## 中原区内のボランティア情報（平成20年10月）

### 【ボランティア募集】

ボランティア・市民活動情報誌「ナンバーゼロ」に掲載されているボランティア募集を紹介しします。募集は、毎月更新されますので、ご確認ください。

【発行】(財)かわさき市民活動センター (電話) 044-542-1701 (FAX) 044-544-6188 (業務時間) 午前9時から午後9時(年末年始・設備点検日などを除く)

### 【施設ボランティア募集】

週1回から2回の2時間程度、グループホーム・デイサービスセンター中原(武蔵中原駅下車徒歩)。

話し相手や見守り、イベントの手伝い。

【問合せ】三喜会ボランティア推進室 (電話) 045-989-1653 増田

### 【保育ボランティア募集】

毎週火・金曜日の午前9時20分から2時から3時間程度、とどろきアリーナ。火曜日は、10か月から就学前までの乳幼児の保育。金曜日は、2歳児対象の親子スポーツのサポート。どちらか一方でも可。資格不問。

【問合せ】子育てパートナー「とまと」木村 (電話) 080-3457-5591

### 【ホームページの紹介】

ボランティア情報が掲載されているホームページの一部を紹介しします。アドレス先のホームページを是非ご覧ください。

#### ◎中原区民交流センター公式サイトWebなかはらつば <http://nakahara.genki365.net/>

(電話) 744-4087 (月・水・金) / 744-3324 (火・木)

「中原区民交流サイト」は、中原区の市民活動の交流と支援の拠点となる「中原区民交流センター」の公式サイトであり、中原区における市民活動団体に関する情報を市民活動団体と市民が双方向から情報を収集・発信すること、市民活動団体と市民との交流の場をウェブ上に提供することを目的としています。

#### ◎かわさき市民活動ポータルサイト <http://kawasaki.genki365.net/> (電話) 044-542-1701 (FAX) 044-544-6188

(財)かわさき市民活動センターでは、平成20年10月1日(水)から、川崎市内のボランティア・市民活動の情報を網羅した「かわさき市民活動ポータルサイト～ボランティア・市民活動のひろば」を開設しました。ポータルサイトでは、市内で活動しているボランティア・市民活動団体の詳細や、ボランティア募集情報、イベント情報、行政情報、企業の社会貢献などの情報を掲載します。このサイトは、市民・行政・企業が自ら情報を提供することで、ボランティア・市民活動の情報拠点として仮想ネットワークを構築し、更なる市民自治社会を目指しています。

#### ◎中原区社会福祉協議会のHPボランティア紹介 <http://www.kawasaki-shakyo.jp/nakahara/> (電話) 044-722-5500

新着・高齢者・障害・子育て・その他のボランティア情報、講座・研修会、福祉・ボランティア教育、ボランティアグループの紹介等が掲載されています。



### 【イベント情報】

11月に開催される市民活動団体参加のイベントを紹介しします。「百聞は一見にしかず」と言います。会場に行き、是非、地域のボランティア活動状況をご覧ください。

#### なかはら福祉健康まつり

「であい ふれあい ささえあい」をテーマに、約50の区内市民活動団体の皆さんと開催します。

【日 時】11月15日(土) 午前10時から午後3時

【会 場】中原区役所とその周辺

【問合せ】中原区社会福祉協議会 Tel. 722-5500

中原区役所地域保健課 Tel. 744-3261 Fax 744-3340

#### なかはら子ども未来フェスタ

「きて、みて、あそんで つなぎあう子育ての輪」をテーマに開催します。

【日 時】11月22日(土) 午前10時から午後3時

【会 場】中原区役所

【問合せ】中原区役所子ども支援室

Tel. 744-3238 Fax 744-3340

#### かわさきボランティア・市民活動フェア

(\*\* ボランティアも募集中 \*\*)

「踏み出す! 広がる! 出発親交(しゅっぱしんこう)」をテーマに開催します。

【日 時】11月29日(土) 午前10時から午後4時

【会 場】川崎市国際交流センター(中原区木月祇園町2-2)

【問合せ】かわさき市民活動センター Tel. 542-1701

川崎市社会福祉協議会 Tel. 739-8718

平成20年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
2-2	地域保健ネットワーク推進事業	新規	H20	地域保健福祉課

1 事業概要

事業実施主体	中原区役所		対象者	区民		当初予定事業 緊急対応事業
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他( )	関連事業局 ・事業内容				
目的及び内容	要介護高齢者や意思疎通が困難な障害者、号泣する乳幼児等の専門性が高い歯科診療や外傷等緊急性の高い歯科診療等への受診相談や問合せへの的確な対応を行うための情報集約と体制づくりを行うことを目的とする。					
予算額	264,000(円)	決算額	0(円)	不用額	264,000(円)	
不用の理由	下記理由による					
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】		事業を実施しなかった。			
	(写真などのキャプション)		実施時期 (開催日/回数等)		参加 人数等	

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)
予算作成時においては、当該事業の必要性を考慮し事業内容を検討したが、事業実施に際し、県歯科医師会の作成するホームページが市ホームページ(かわさきのお医者さん)上にリンクが貼られ、当該事業が目的とする情報集約が達成され、事業を実施しなかった。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する		

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない  
区民会議からの主な意見

--

平成20年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
2-3	なかはら健康まつり（なかはら福祉健康まつり）	継続	H20	地域保健福祉課

1 事業概要

事業実施主体	なかはら福祉健康まつり実行委員会	対象者	中原区民	当初予定事業 緊急対応事業
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他（ ）	関連事業局 ・事業内容	なし	
目的及び内容	誰もが健康で生き生きと暮らせる地域社会を目指し、福祉・健康に対する区民の知識や理解を深める機会を創出する場として、「なかはら福祉健康まつり」を実施する。参加型イベント、活動発表等のさまざまな催しを行うとともに、福祉・健康の各参加団体の交流を図り、地域の福祉と健康ネットワークの拡大につなげる。			
予算額	1,200,000(円)	決算額	1,200,000(円)	不用額 0(円)
不用の理由				
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】 	平成20年度から、「なかはら健康まつり」と「ふれあいなかはら福祉まつり」を一本化し、平成20年11月15日(土)に「なかはら福祉健康まつり」を開催した。両事業をつなぐ福祉健康体験ウォークラリーや活動紹介コーナー、バザー、模擬店、福祉・健康相談、川崎フロンターレ育成・普及コーチによる講話、リズム体操、試食コーナーといった様々な福祉や健康を学び交流するイベントが盛大に実施された。		
	(まつり会場風景)	実施時期 (開催日/回数等)	平成20年11月	参加人数等 約3,000人

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)
福祉と健康のまつりを一本化して実施したことにより、互いに意識しあい、相乗効果は発揮できた。また、両事業を一本化したことにより、ポスターやリーフレット、会場設営費用などの経費の節減が可能となり、イベントにその費用を運用することができた。 こうした区民参加型のイベントを実施することで、区民が、気軽に福祉・健康への理解を深める機会を得ることができ、また、子育て、障害、高齢者、健康づくりにかかわる様々な団体が、「であい、ふれあい、ささえあい」をテーマに集い、交流することで、新たな地域活動のネットワークづくりに貢献できた。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	12回目を迎え、福祉と健康をテーマにしたこのまつりが区民やボランティア団体に定着していることが伺えた。一本化による相乗効果を生かし、さらに地域における健康づくりや福祉の充実に寄与する意義あるイベントとしていく。	B

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

区民会議からの主な意見

事業は、素晴らしいものと思えました。会場が少し狭いように思いました。

平成20年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
2 - 4	ふれあいなかはら福祉まつり（なかはら福祉健康まつり）	継続	H20	地域保健福祉課

1 事業概要

事業実施主体	なかはら福祉健康まつり実行委員会	対象者	中原区民	当初予定事業 緊急対応事業
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他（ ）	関連事業局 ・事業内容	なし	
目的及び内容	* 2 - 3 なかはら健康まつり（なかはら福祉健康まつり）参照			
予算額	（円）	決算額	（円）	不用額 （円）
不用の理由				
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】			
	（写真などのキャプション）	実施時期 （開催日/回数等）	参加 人数等	

2 事業評価

評価の結果と理由（緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること）

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する		

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

区民会議からの主な意見

--




平成20年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
2-5	介護予防マップ作成推進事業	新規	H20	地域保健福祉課

1 事業概要

事業実施主体	介護予防マップ作成実行委員会		対象者	地域の高齢者及び関わる関係機関		当初予定事業 緊急対応事業
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他( )	関連事業局 ・事業内容	中原区役所(高齢者支援課)			
目的及び内容	介護予防に効果が期待できる地域活動及び公的サービスの情報の一元化を目的とした介護予防マップを、介護予防マップ作成実行委員会にて作成を行う。					
予算額	100,000(円)	決算額	94,920(円)	不用額	5,080(円)	
不用の理由						
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】 		介護予防マップ作成実行委員会を年3回開催した。委員には民生委員・ボランティア団体・老人クラブ・地域包括支援センターなどの関係機関から構成した。作成物を民生委員260名・老人クラブ48カ所・地域包括支援センター6ヶ所・老人いこいの家7ヶ所・町内会長76名などを通じて地域へ配布した。			
	A3のカラー4色刷りを1万枚作成できた。(資料別添)		実施時期 (開催日/回数等)	介護予防マップ 作成実行委員会 7月・10月・2月 計3回	参加 人数等	実行委員メンバ ー:10名

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)
武蔵小杉駅周辺の倍規模開発等に伴い転入者の大幅な増加が見込まれ、高齢者の介護予防の観点から閉じこもり予防・外出支援としての情報を地域へ周知することは重要である。介護予防マップ作成実行委員会のメンバーを様々な機関で構成したことで互いに情報交換でき連携が深まった。また各委員の情報をマップの内容や地域の配布に反映でき、今後の介護予防の推進になった。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	当初の目的を達成したので終了する	

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

区民会議からの主な意見

高齢化社会に向けてよい物が出来たと思います。

平成20年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
2-6	脳・体はつらつ倶楽部	継続	H19	地域保健福祉課

1 事業概要

事業実施主体	地域保健福祉課		対象者	認知症になる危険性の高い高齢者	当初予定事業 緊急対応事業
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他( )	関連事業局 ・事業内容	健康福祉局・介護予防事業		
目的及び内容	認知症予防プログラムを実施し、活動を通して閉じこもりを防止し、仲間づくりや介護予防など高齢者における生活の質の向上を図る。また、活動を支援するサポーターの養成講座を実施し、終了後も継続した活動が行えるよう自主グループ化を目指す。				
予算額	376,000(円)	決算額	330,208(円)	不用額	45,792(円)
不用の理由					
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】	認知症予防のプログラムとして、読み書き計算・有酸素運動を実施。その内容評価として、認知機能と基本チェックリスト、体力測定を講座の前後で行った。読み書き計算の時間はともに速くなった参加者が多く、基本チェックリストも運動器・外出の状況・こころの状態が改善傾向であった。 サポーター養成講座では、サポーター自身が認知症予防を実践できることを目指し、脳はつらつ倶楽部での活動を通しながら自主運営に対する意識を高めることができた。			
	(写真などのキャプション)	実施時期 (開催日/回数等)	サポーター養成講座 6~8月 計6回 脳はつらつ倶楽部 9~3月 計14回	参加 人数等	サポーター養成講座 16人 脳はつらつ倶楽部 17人

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)
参加者のほとんどは、認知・運動・社会機能の維持・向上がみられた。心理的变化としても前向きになった者が多く、外出頻度や行動範囲も広がったという結果が得られている。 サポーター養成講座においても、当初より自主化の動機付けを行い話し合いを重ねることで、自主的な運営につながった。参加者とサポーター間の交流も図られることで、認知症予防プログラムの活動を通じた地域づくりにも寄与していると思われる。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	新城地区の脳はつらつ倶楽部は、平成21年度より自主グループ化し、その後方支援(介護予防グループ支援事業)を継続している。また、21年度は対象をさらに他地区へと拡大し、展開する予定である。	B

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

区民会議からの主な意見

認知症の予防する事業は良いものと思います。拡大・展開の検討をお願いします。